



顧客
マイエンヌ病院グループ

課題
ケアサービスの行き届いていない地方におけるケア連携と患者体験の向上

結果
InterSystems HealthShare により、地方の開業医と病院の臨床医が患者情報を効率的に共有可能に

フランスの地方における ケアの継続性を変革

フランス北西部の公立病院と医療施設のネットワークである マイエンヌ病院グループは、InterSystems HealthShare® を使用して、MayVilleHop ヘルスケア・コーディネーション・プラットフォームを構築しています。MayVilleHopは、臨床医のコミュニケーションとコラボレーションを合理化し、ケアの継続性を向上させ、不必要な救急外来受診を減らします。このプラットフォームは、特に医療資源が限られている地方のコミュニティにおいて、医療の質と患者の体験を向上させます。

HealthShareは、独立したEHRシステムのばらばらなデータを単一で縦断的な健康記録に統合し、医療専門家が患者情報を交換し、ケアを調整することを容易にします。MayVilleHopは、電子メール、ファックス、電話といった時代遅れの通信手段を排除し、ケアの提供を迅速化し、患者と臨床医のフラストレーションを軽減します。

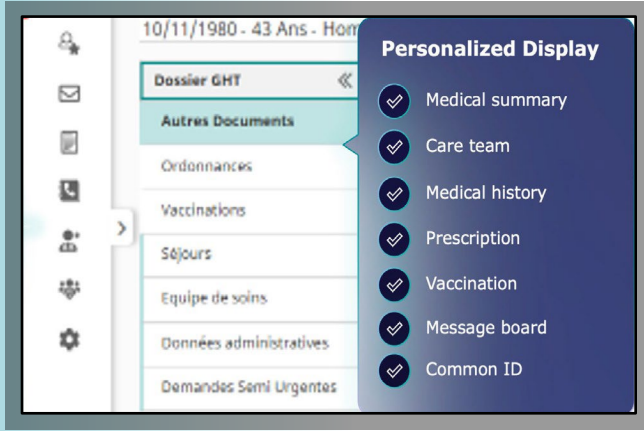
課題： サービスが行き届かない地域の医療改善

1平方キロメートルあたりの人口がわずか60人というマイエンヌ県は、フランスで最も人口の少ない地域のひとつです。この地域は、辺境地域における医療従事者の深刻な不足により、重大な医療問題に直面しています。さらに、断片化されたEHRシステムとさまざまな通信システムが存在し、地方の医師と病院の臨床医がデータを共有し、ケアを調整することが困難になっています。

HÔPITAUX
de la
MAYENNE

InterSystems®
Creative data technology

その結果、遠隔診療で対応できたはずの緊急でない症状で患者が救急外来を受診することが多くなり、救急外来の資源が浪費され、患者の満足度も損なわれていました。



MayVilleHop
Coordination Platform

患者、医療提供者、病院システムの負担を認識した地域医療局は、ケア連携を改善し、救急外来の過密状態を解消し、農村部の住民により良いサービスを提供するためのタスクフォースを招集しました。病院勤務医と開業医で構成されるこの委員会の使命は、コミュニケーションの障壁をなくし、特に遠隔地の患者が迅速かつ適切な治療を受けられるようにすることでした。このタスクフォースは、地域全体をカバーする新しい医療連携プラットフォームの機能要件と技術パートナーを特定する役割を担いました。

ソリューション: InterSystems HealthShareによる データ交換の合理化

4つの候補を評価して、委員会はMayVilleHopプラットフォームの基盤として InterSystems HealthShareを選択しました。HealthShareは、さまざまなソースからヘルスケア・データを取り込み、共有し、変換するために連携するソリューション・スイートです。

委員会に参加し、彼らのニーズを理解しようとするインターシステムズの熱意が、この決定に影響しました。「マイエンヌ病院グループの副院長であるヴィンセント・エレラ氏は、以下のように述べています。「インターシステムズは、私たちの特定の要件を満たすソリューションを開発するために、私たちと提携してくれる唯一の企業でした。他のベンダーは基本的に「我々のツールは、こういうもので、それを使ってください」と言いましたが、インターシステムズは、より協力的なアプローチをとってくれました」

MayVilleHopは、以下のようなHealthShareソリューションを活用しています:

- Unified Care Record - 異種データを統合、正規化、重複排除し、縦断的な健康記録を作る
- Care Community - チーム内の調整とコミュニケーションをする
- Health Insight - 臨床データと集団健康データの迅速かつ大規模な分析をする

インターシステムズは委員会と緊密に協力し、採用を合理化するために統一ケア記録のビューを構築しました。

「インターシステムズのおかげで、わずか4ヶ月で2つの病院でパイロットプログラムを立ち上げることができました。」

ヴァンサン・エレラ 副院長
マイエンヌ病院グループ

結果: ケアコーディネーションと患者アウトカムの改善

HealthShareは、病院グループが相互運用性の障壁や情報のサイロ化を解消し、統合作業を簡素化し、価値実現までの時間を短縮できるよう支援しています。「マイエンヌのケア調整の状況は悲惨で、一刻を争う状況でした」とエレラ氏は振り返ります。「インターシステムズのおかげで、わずか4ヶ月で2つの病院でパイロットプログラムを立ち上げ、稼働させることができました。」

パイロットプログラムの成功に基づき、グループはすぐにプロジェクトの範囲と範囲を拡大し、より多くの機能、分野、病院へのサポートを追加しました。現在、MayVilleHopは7つのEHRシステムに接続され、34万件以上の患者記録を保持しています。電子カルテへの安全でリアルタイムなアクセスを提供し、いくつかのサードパーティツールと連携して、コーディネーションとスケジューリング、メッセージング、通知、遠隔医療、ディレクトリサービス、コホーティング、パスウェイ、データ分析機能など、幅広いケアデリバリーと集団健康管理機能を提供します。このプラットフォームはまた、フランスの全国的な医療記録リポジトリであるDossier Médical Partagéへの安全なアクセスも提供します。

MayVilleHopプラットフォームは、マイエンヌ地域全体のケアの継続性を根本的に変革し、医療提供のコスト、遅延、非効率性を削減しながら、住民の健康と福祉を向上させます。

さらに詳しい情報は

インターシステムズが、医療機関のケアの継続性をいかに支援できるかについてさらに知りたい方は、こちらをご覧ください。

InterSystems.com/jp/